

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	市内病院の業務効率化に資する DX・AI ソリューションの提案
提案の募集対象 (テーマに関連する 事業等の概要)	【名称】 医療 DX・AI 活用による業務効率化支援事業 【概要】 市内病院の業務効率化に向けて、病院現場における DX・AI の活用を推進します。
提案を募集する 背景・課題	横浜市では、更なる高齢化の進展などにより令和 27 年頃まで入院需要の増加が見込まれています。一方、生産年齢人口の減少に伴い、医療従事者の確保は年々困難になっています。 このような状況においても市民に必要な医療を提供し続けるためには、限られた人材で効率的に業務を行うことが求められており、DX・AI 活用による業務効率化が重要となっています。 一方で、病院においては、 ・ 情報共有に時間を要している ・ 看護記録等の文書作成負担が大きい ・ 医師や看護師の事務作業が多い ・ DX や AI 導入を推進する人材が不足している ・ どの業務からデジタル化・AI 活用を進めるべきか判断が難しい といった課題があります。
課題によって ①誰が ②どう困るのか	①市内病院の経営者、事務部門責任者、看護管理者等 ②人材不足により業務負担が増加し、離職リスクや採用難が深刻化するおそれがあります。 また、DX・AI 活用に関心があっても、導入効果や具体的なサービス内容を知る機会が少なく、導入検討が進みにくい状況があります。
課題に対して横浜市 が現在どう関わって いるのか	市内病院の DX・AI 活用を推進するため、「DX・AI 活用推進ガイドブック」の作成及びセミナーの開催を予定しています。
募集対象	■ <u>公民連携の提案及び連携事業者の募集</u> ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。 □ <u>公民連携の提案のみの募集</u> ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。
※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	
横浜市が希望する 提案について	1 提案サービス又はシステム 市内病院における業務効率化、生産性向上及び職員負担軽減につながる DX・AI 活用に関するもの。 ・ 医療従事者間の情報共有の効率化 ・ 看護記録等の作成支援 ・ 音声入力・生成 AI 等を活用した文書作成支援 ・ 医師事務作業補助の効率化 ・ 見守り・モニタリング業務の効率化 など 2 提案事業者 以下を全て満たすこと。 ・ 提案するサービス又はシステムについて、応募日時点で商用提供を開始しており、実証実験、研究開発又は試行的な提供のみの段階にあるものではないこと

	• 病院への導入実績を3件以上とその効果検証の結果を有すること（横浜市内病院での導入実績を歓迎します） • 導入支援及び運用支援体制を有すること • 次のいずれかを満たしていること（取得を証する書類の写しや登録番号等を添付） ➢ ISMS 認証（ISO/IEC 27001）を取得している ➢ プライバシーマーク（P マーク）を取得している ➢ ISMS クラウドセキュリティ認証（IS027017）を取得している ➢ その他、上記と同等の管理体制を有している 3 提案内容 上記1に掲げる医療機関向け DX・AI ソリューションを有し、2を満たす事業者に対し、市内医療機関向けセミナーにおいて、 ① 展示スペース※等によるサービス説明 ② 個別相談対応 ③ 導入事例や効果の紹介 等を実施できる提案を募集します。特に、DX・AI 活用推進ガイドブックで取り上げるテーマ（見守り ICT、院内チャットツール、生成 AI 等による文書作成支援）や病院現場の課題に関連し、病院における具体的な活用方法、導入プロセス、導入効果等を紹介できる提案を歓迎します。 上記セミナーにおいて紹介可能な提案数には限りがあるため、提案内容がセミナー参加者への情報提供に特に有用と認められるもののみの紹介とし、それ以外についてはセミナー資料等にサービス・システム名、会社名、連絡先を一覧で掲載します。 なお、展示スペースについては、セミナー終了後に参加者が自由に各事業者の見学する形を想定しています。 ※展示スペースのサイズ及び当日のタイムスケジュールは別途ご連絡します。（セミナーは14時～17時を予定、うち5分程度登壇、最後1時間程度見学時間） なお、横浜市が特定の製品やサービスを推奨するものではなく、病院が導入検討を行う際の情報提供を目的とします。
想定する提案の例	市内病院における業務効率化、生産性向上及び職員の負担軽減につながる DX・AI 活用に関するサービス又はシステムに関する、具体的な活用方法、導入プロセス、導入効果等の紹介。 【サービス又はシステムの例】 • 医療従事者間の情報共有の効率化 • 看護記録等の作成支援 • 音声入力・生成 AI 等を活用した文書作成支援 • 医師事務作業補助の効率化 • 見守り・モニタリング業務の効率化 など

■提案にあたっての条件

募集期間	令和8年9月17日（木）～ 令和8年10月19日（月）
実施予定時期	令和8年11月26日（木） 午後（予定）
提案の形式	様式3の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で	☐ 特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない） ☒ 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込

選定します	む) □提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 □その他 ()
横浜市から提供できるメリット	提案内容や病院での導入実績、情報セキュリティ対策、サポート体制及び事業趣旨との適合性等を総合的に確認したうえで、提案内容が本事業の趣旨に適合すると認められれば、次のようなものが例として挙げられます。 (実施内容・スペース等の関係により全ての参加・掲載を保証するものではありません) ・ 市内病院向けセミナーでの展示ブース等への出展及びセミナー内での事例紹介（登壇）機会の提供 ・ 本市ウェブサイト等に、提案資料等を掲載
横浜市の予算措置の可能性	予算措置なし
その他の留意点	本募集は、市内病院に対する情報提供機会の創出を目的とするものであり、参加事業者は横浜市が定める選定基準に基づき選定しますが、横浜市が特定の製品又はサービスを推奨、認証又は導入を推奨するものではありません。
提案のお申込み先・内容についての お問い合わせ先 (事業所管部署)	横浜市医療局 地域医療課地域医療係地域医療人材確保等担当 TEL 045-671-2993 FAX 045-664-3851 E-mail ir-ch-jinzai@city.yokohama.lg.jp